

TWIN21 30周年 記念イベント

皆様のおかげで30周年!!
ありがとうございます!!

TWIN21 NEWS 特別号

1 クッキングパパ 30周年 うまいぞ!!フェスタ

連載30周年を迎えた「クッキングパパ」を振り返る単行本130巻の表紙の展示や、連載第1話の複製原画の展示、原作の大ファン・サンドウィッチマンによる「男めし」クッキングコーナー」と題した調理ムービーの放映を行います。
さらに、「クッキングパパ」単行本立ち読みコーナーなど、見どころたくさんのできる展示企画です!



ACCESS

- 地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク駅」4番出口すぐ
- JR・京阪「京橋駅」下車
- JR環状線「大阪城公園駅」下車
- JR東西線「大阪城北詰駅」下車



2 大抽選会

日頃の感謝の気持ちを大抽選会のプレゼントにしました。

特賞
赤い風船で行く
特選の宿
ペア宿泊券
(200,000円相当)

500円毎に抽選補助券を1枚進呈、
6枚で1回抽選ができます!

1等賞 ホテルニューオータニ大阪
ペア宿泊+ディナー券

2等賞 ランチ1カ月フリーパス券

3等賞 OBPアカデミアセミナー6回参加券

4等賞 物販店舗商品券 **3,000円相当**

5等賞 飲食店舗ランチ券 **1,000円相当**

6等賞 各店舗からのプレゼント

7等賞 100円クーポン券

参加賞 お菓子のまるしげ呼吸チョコ

チケット
配布期間 3月1日~3月31日
※最終日の配布時間は
18:00までです

大抽選会 3月22日~31日
11:30~18:30

3 サンキューマルシェ

全国各地の名物を取り揃えた「ご当地マルシェ」、
キッチン用品を販売する「お父さんの台所マルシェ」など
楽しいマルシェを開催します!



- ・キッチン用品金物市
- ・醤油、味噌市
- ・陶器市
- ・料理BOOK
- ・木工市
- ・九州、沖縄物産市

4 お得な回数券販売

先着**500名**様限定

お一人
2冊まで

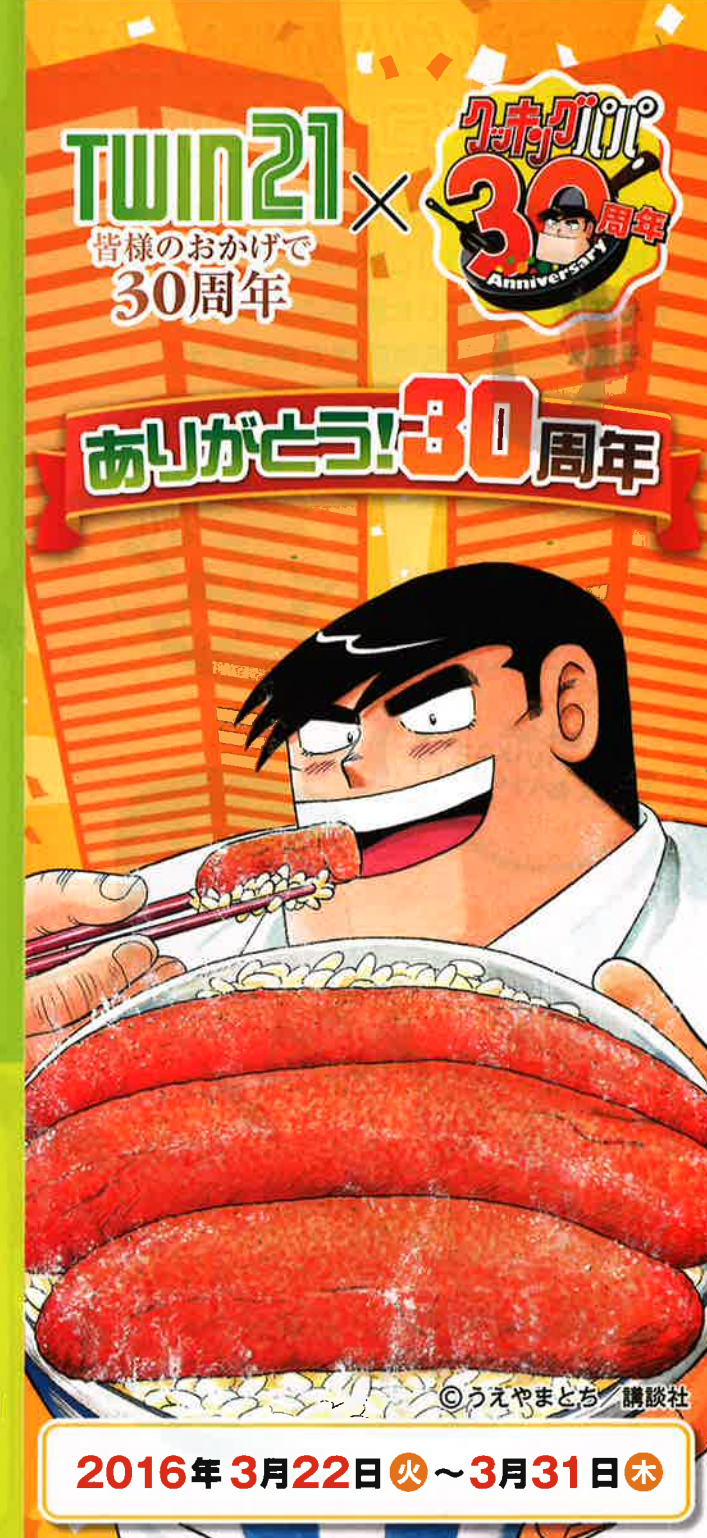
3,000円分の商品券を
2,500円にて販売いたします。
おまけ特典として、
大抽選会チケットをプレゼント!
お得にツインを楽しみましょう!



販売期間 3月25日(金)
11:00~ なくなり次第終了!

5 店舗からのプレゼント

イベント期間中 店舗ご利用の皆様へ
各店舗より日頃のご愛顧の気持ちを
プレゼントいたします。
内容は店舗でのお楽しみ!!



2016年3月22日(火)~3月31日(木)

ホームページ

(TWIN21) <http://www.twin21.jp/>



クッキングパパ 30周年 うまいぞ!!フェスタ

クッキングパパレシピを 食べつくすぞ!

きつと誰しもマンガの中に出てくる美味しそうな
ご飯を「食べたい!!」と思った経験があるはず。
そんな思いを形にした夢のような素敵な
コラボメニューが期間限定で登場です。

コラボメニュー
参加店舗一覧



① 海鮮居酒屋 芦刈 明太子卵焼き 2F

提供時間 11:00~ ¥600

小学校の運動会。白組の騎馬戦の大将のまことは「負けたほうは今後さなえちゃんに近づかない」という約束で、恋するさなえちゃんを賭けて赤組大将の近藤と勝負することになってしまった。なんとしても負けられないまことは、父である荒岩に「ぐあば〜と力がわいてくるようなお弁当を作ってよ!!」とお願ひする。

そこで荒岩が作ったパワーアップ弁当のおかずの一つが「明太子卵焼き」。ピリ辛の明太子入り卵焼きで気合の入ったまことであったが、勝負は近藤の騎馬に倒され負けてしまう。勝者の近藤を押しつけて、倒れたまことに駆け寄りさなえちゃん。勝負には負けたが、恋では勝利したまことであった。

29巻 / 283話「明太子卵焼き」 ■TEL.06-6947-5070

② 寿司・海鮮 料理店酒屋 喜酔 鯛ラーメン 3F

提供時間 17:00~ 1日10食限定 ¥980

金丸産業に出入りしているトラックの運転手田村の作る鯛茶漬けは絶品で、東山常務のお気に入りであった。田村は金丸産業の近くに来たついでに、常務と荒岩に鯛茶漬けを振舞う。「鯛ならくさるほどあるたい!!」という田村は、二人をトラックに乗せて自宅へ向かう。自宅に着き冷蔵庫を開けると、そこには食べきれない量の鯛がギッシリ詰め込まれていた。何でも釣りが得意な田村が鯛を釣りすぎたため、知り合いや近所に配っても一向に減らないという。しかも、毎日のように魚が食卓に並ぶことに嫌気がさした娘のまこが魚を嫌いになってしまったらしい…。そこで、ラーメン好きなまこのために荒岩が作った料理が「鯛ラーメン」。

これには、まこも「パパ、またおさかな釣ってきてね」と大喜びであった。

29巻 / 289話「鯛ラーメン」 ■TEL.06-6947-5559

③ 四季めん処 めん坊 ゴマダレうどん 3F

提供時間 11:00~ ¥630

金丸産業で荒岩と同期の池田敏子は、コピー機の点検で会社に訪れる林に好感を抱いていた。ある日曜日、二人は美術館で偶然鉢合わせする。共通の趣味で意気投合した二人はそのまま喫茶店へ。敏子は外食ばかりでうんざりしていた独身の林を家に招待し、料理を振る舞う約束をする。

敏子から「あなたぐらいの年の男性ってどんな料理が好きしら?」と聞かれた荒岩が煮物などのおふるの味と一緒に勧めた料理が、出張先の大分で食べた「ゴマダレうどん」。荒岩の助言が功を奏し、心のこもった敏子の手料理に林は大満足。二人の関係に進展があると思いきや、林は博多から東京本社へ戻ることが決まっていた…。ちよびり悲しい大人の恋のエピソード。

25巻 / 251話「ゴマダレうどん」 ■TEL.06-6947-5160

④ 焼鳥酒場 とりくら アスパラのリゾット 3F

提供時間 17:00~ ¥500

ある日、夢子の弟の達也が彼女を連れて夢子の家へやってくる。すぐに意気投合した夢子と達也の彼女。姉と彼女が夕食の準備をしている間、達也は喫茶店ブルーベルへ向かう。達也は以前、そのママに恋心を抱きつられていたのだった。久しぶりの再会を果たした二人。達也に彼女が出来たことを聞いたママは大喜びする。

その時、常連の多久さん(通称タコさん)がお店にやってきて、話の流れから達也と彼女とママとタコさんの4人で食事をする事になる。翌日タコさんがお店で作っていたのは、得意料理の「アスパラのリゾット」。その帰り道、何かを察した彼女に「博多にもうひとり素敵なお姉さんがいたのね」と言われ、苦笑いする達也であった。

77巻 / 756話「アスパラのリゾット」 ■TEL.06-6966-1771

⑤ 旬味 串焼 やまや キムチトンカツ 3F

提供時間 17:00~ 11:00~14:00 キムチトンカツ…… ¥500
+定食…………… ¥850

小学校の運動会。白組の騎馬戦の大将のまことは「負けたほうは今後さなえちゃんに近づかない」という約束で、恋するさなえちゃんを賭けて赤組大将の近藤と勝負することになってしまった。なんとしても負けられないまことは、父である荒岩に「ぐあば〜と力がわいてくるようなお弁当を作ってよ!!」とお願ひする。

闘志が湧き出るようにと荒岩が考えたのが、ピリ辛のエキサイトメニュー。明太子卵焼き、からし漬、そしてキムチを豚肉で挟んだ揚げた「キムチトンカツ」。ピリ辛メニューで気合の入ったまことであったが、勝負は近藤の騎馬に倒され負けてしまう。勝者の近藤を押しつけて、倒れたまことに駆け寄りさなえちゃん。勝負には負けたが、恋では勝利したまことであった。

29巻 / 283話「キムチトンカツ」 ■TEL.06-6941-8200

⑥ ちゃいいに〜ず 香港食卓 フルーツ春巻き 3F

提供時間 17:00~ ¥600

小学校の夏休み中、まことが家でゴロゴロしていると、まことが恋している同級生のさなえちゃんが突然やってくる。さなえちゃんは父親の転勤のため、今日の夕方飛行機で東京へ引越すことを言いに来たのであった。まことはさなえちゃんの好きな食べ物がお菓子だと聞きだし、お菓子の作り方を聞くために父である荒岩に泣きながら電話をする。ただならぬまこの様子に、荒岩は猛スピードで仕事を片付け早退して家へ帰る。事情を聞いた荒岩は、飛行機の時間を考え冷蔵庫のあり物で作れるお菓子「フルーツ春巻き」を思いつく。まことは父と一緒にフルーツ春巻きを作り、なんとかがりぎりさなえに手渡すことが出来る。

3日後、さなえからお礼の手紙が届き、二人は文通することとなる。

4巻 / 42話「フルーツ春巻き」 ■TEL.06-6945-2622

⑦ 心齋ばし 浪花そば とんてん丼 3F

提供時間 11:00~17:00 ¥980

まもるは同様している彼女のひとみと小さな店を持つのが夢だった。ある日まもるに、以前勤めていたお店「松二家」の大将から、知り合いが屋台の跡継ぎを探しているという話が舞い込む。大将から屋台に呼びだされたまもるは料理にける情熱が認められ、屋台のオーナーの手荒い面接にパスする。

そして、とうとう二人の夢であった小さな店、彼女の名前である「ひとみ」というどんぶり専門の屋台をオープンさせる。

お店の目玉商品として作ったどんぶりが「とんてん丼」。豚肉の薄切りの天ぷらで作った天丼である。

37巻 / 370話「とんてん丼」 ■TEL.06-6949-2730

⑧ ビヤレストラン 銀座ライオン めんたいチキン 3F

提供時間 16:30~ ¥650

荒岩家に第二子となる長女のみゆきが誕生する。韓国への出張を目前に控えていた荒岩であったが、妻が出産直後で病院から帰れず、もし出張に行けば、家を小学生の長男まこと一人にしてしまう。考えた挙句、荒岩は大平課長に出張の断りを入れる。

どうしても荒岩は韓国に行きたい大平は、手料理の差し入れ「めんたいチキン」(からしめんたいを丸ごと挟んで揚げたチキンカツ)を持参し、荒岩の部下で同僚アパートの2階に住む梅田夫婦と荒岩の家を訪れる。

大平の説得で、梅田夫婦にまことを預かってもらうことに決めた荒岩は、韓国出張を了承する。

21巻 / 205話「めんたいチキン」 ■TEL.06-6946-0481

⑨ シノワタインク T'S GARDEN 牛タンチャーハン 38F

提供時間 11:30~14:00 1日10食限定 ¥1,500

荒岩の部下の田中は三兄弟の長男。ある日、三男の三郎が同じ大学の研究室の後輩である福辺天子(ふくべてんこ)を連れて田中の家にやってきた。転んでお土産のケーキを落としたり、田中に抱きついてしまったり、大好きな三郎の兄の家族の前で緊張してミスを繰り返す天子。そんな天子と三郎のために田中の妻の夢子が用意したお昼ご飯が「牛タンチャーハン」。大事なお客さんのために、いつものチャーハンに大きめに切った牛タンを入れてちょっと贅沢に仕上げた。愉快な田中と夢子特製の牛タンチャーハンのおかげで、すっかり緊張も解けた天子であった。

114巻 / 1109話「牛タンチャーハン」 ■TEL.06-6947-5115

⑩ ダイナミックキッチン&バー 燦 ミソスキ 38F

提供時間 17:30~ 1日5食限定 ¥1,200

金丸産業営業二課のメンバーは、行きつけの小料理屋「松二家」に来ていた。いつも威勢のいい松二家の大将だが、その日は何だか元気がない。数日後、プロの料理人を目指して松二家で修行中のまもるは、大将から店を畳むことを告げられる。家に帰ったまもるは、同棲している彼女のひとみにその事実を伝える。店を持つ夢が遠ざかったと弱音を吐き、予定に入っていた新メニューの研究をサボろうとしていたまもるに激を飛ばすひとみ。やる気を取り戻したまもるは、松二家の営業最終日、大将に新メニューの試食をお願いする。大将の試食をパスし「最高の相棒(パートナー)だったよ」という言葉をもらったまもる。その日駆けつけた大勢のお客さんの拍手が、松二家に鳴り響いた。

37巻 / 369話「ミソスキ」 ■TEL.06-4790-6555

